

三浦のぶひろNEWS

Miura Nobuhiro News 2016 Summer vol.3 発行：三浦のぶひろを励ます会

子育て編

未来をつくる子供たちに
希望が、ゆきわたる日本へ。

「子ども医療費無料化」と
「幼児教育無償化」を拡充

子育て世代の「賃金アップ」と
「雇用の安定」を促進

返済不要の「給付型奨学金」創設で
教育費負担を軽減

公明党国際局次長・青年局次長

三浦のぶひろ

41歳

討議資料



三浦のぶひろは、幼い頃から母子家庭で育ちました。決して裕福ではありませんでしたが、明るい母が女手一つで一生懸命に働き、愛情を注いでくれたおかげで、勉学に励み、大学の准教授にまでなることができました。

いまは、小学生の育児に奮闘する父親となり、ひとり親という環境で育ててくれた母の苦勞が身に染みて分かります。そんな三浦が体当たりでつくる日本の未来とは、どんな境遇の子どもでも、必ず、幸福になれる豊かな希望社会です。

「子ども医療費無料化」と「幼児教育無償化」を拡充

子ども医療費の助成には、対象年齢や親の所得制限などに「地域格差」があり、改善すべきです。また、幼児教育においても待機児童問題や家計負担の大きさなど課題は少なくありません。三浦は同世代の代表として政治を動かし、子育て支援のさらなる拡充をリードします。

子育て世代の「賃金アップ」と「雇用の安定」を促進

自公政権の実行力によって、若手社員の賃金アップに取り組む企業が増え始めています。安心して子どもを産み育てられる社会を築くには、給与の増額と雇用の安定が絶対に欠かせません。三浦は働くお父さん、お母さんを全力でバックアップするため政治の力を発揮します。

返済不要の「給付型奨学金」創設で教育費負担を軽減

大学などに進学したくても、経済的な理由で断念している子どもが数多くいます。その支えとなるのが「奨学金」ですが、中でも返済不要の「給付型」を求める声が高まっています。苦勞して奨学金を返済した経験をもつ三浦だからこそ、若者の学ぶ意欲を強力に後押しします。



NPO法人
ファザリング・ジャパン代表
安藤哲也氏

“父親であることを楽しもう”をモットーに、日本全国で活動している私たちにとって、模範のイクメンでもある三浦さんは、頼もしい仲間であり、ぜひとも政治の分野で活躍してほしい青年リーダーです。「育児も、仕事も、人生も、笑って楽しめる父親を増やしたい」—その思いを広げながら、パパもママも、そして主役である子どもたちも、笑顔で暮らせる希望社会を三浦さんと一緒に築いていきたいと願っています。



三浦のぶひろ Profile

1975年3月5日生まれ。横浜市港南区在住。宮城県仙台市出身。福島県立福島高校、千葉工業大学を卒業後、防衛大学の機械システム工学科助手に。2003年には東京工業大学で工学の博士号を取得。4年おきに開催される先進発電機器材料の国際会議（EU主催）で、最も優れた発表者に贈られる「ベストポスター賞」を連続受賞（02年、06年）。日本人初の快挙となった。2012年、防衛大学校で最年少の准教授に就任。公明党国際局次長・青年局次長・神奈川県本部中小企業局長。家族は妻と娘と愛犬。



公式ウェブサイト miura-nobuhiro.com



メルマガ登録
join@miura-nobuhiro.com



動画を視聴
三浦のぶひろショートムービー

